

2022Japan National Team Report ”選手”



報告者	所属クラブ ; B&G 兵庫ジュニア海洋クラブ 学年 中学3年生 氏名 堀野留海		
大会名	ARKAS OPTIMIST WORLD CHAMPIONSHIP		
開催地	トルコ		
大会期間	2022 年 6 月 27 日～7 月 7 日		
セール No	3432	最終順位	144 位

- 帰国後1ヶ月以内に、チームでまとめた上、海外派遣担当までメールにて送付して下さい
- JODA理事会にて確認の後、ホームページに公開します
- 記入時の注意点
 1. このレポートは今後海外派遣レースに参加する選手、役員また日本のジュニアのための資料です
 2. なるべく詳細に記入して下さい
 3. 大会本部や運営、他国や他国選手また特定の個人を批判するような記述はしないで下さい
- 写真資料について
 1. このレポートを補足する資料として必要な場合は、文中に貼り付けて下さい
 2. 他国のOP艇を接近して撮影することを禁止します

気温、水温、ウェアについて	気温＝日本の夏と変わらない 水温＝少し冷たい ウェア＝海ではラッシュガードとスパッツ海パン
海面(湖面)の特徴や風の傾向	海面＝毎回どちらかが必ず伸びる右が伸びることが多かった。風は毎日午後から5～10以上の良い風。朝は風がなかった。
セッティングで注意したこと	今まで通りのセッティングをした。後藤コーチにプリペンダーの長さを調整できるものを作ってもらったので強風が走りやすくなった。
セーリングで注意したこと	波は蒲郡みたいな感じだったのでボディーアクションは今まで通りを意識した。 スタート前ルーティーンをしっかりとした。
海上で練習したこと	スピード練習 コース練習

実際のスベリは どうでしたか？	スピード練習で登り角度を上げることを練習したのでレースの慣れてきたころは食いついていけるようになった。最初の予選フリートはバケモノがいたのでおいて行かれた。
スタートは どうでしたか？	ブロンズフリートになってからスタートは決まるようになっていたけど、予選フリートはおいていかれた。
コース戦略は どうでしたか？	ブロー大事、強い人を分かっておけばその人とおなじ海面を走ること。
自分より上位の選手と の違いは？	のぼり角度、スタート、アビームのスピード、ブローの取り方
国内の練習で 役立ったこと	スピード練習、コース練習、ゼロスタート
国内の練習で 足りなかったこと	のぼり角度重視のスピード練習
印象に残った 外国選手は？	アルゼンチン代表 pi-po 選手、タイ代表 ウェカ選手
行く前と、行ってからで 違ったことはありまし たか。	スタートとセッティングが上手になった。
今後の 課題と目標は？	スタート後のスピードとのぼり角度で前に出ること。
JODA への要望	特にありません。
その他	この海外に行ったという経験をこれからのセーリング人生に生かしてヨットをいっしょうたのしみたいです。 JODA の皆さまいつも支えてくれてありがとうございます。

ご協力ありがとうございました

JODA 海外派遣委員会